



甲斐往来

第八回 大月駅

シリーズ山梨の駅

県東部の拠点となる駅

周囲の景観に溶け込んだ丸太造りの駅

周囲の山々に溶け込んだ丸太造りの風情から「関東の駅百選」に選ばれた大月駅は、春には桜の名所・岩殿山への花見客でにぎわいます。

開業当時は、新宿までおよそ四時間かかっていましたが、複線化や電化などによるスピードアップで、現在は特急で約一時間、普通電車でも一時間半ほどで到着します。最近では、朝夕の時間帯に運行される直通電車で、東京方面へ通勤、通学する人の姿も多くなりました。

しかし、富士北麓方面へ向かう鉄道の整備が進むと、郡内地域の絹織物などの物流拠点として、また富士登山者などが富士北麓地域へ向かう拠点として発展し、駅のある広里村大月（現大月市大月）は地方小都市へと急成長しました。

京方面へ向かう電車の右窓に、富士急行線、左窓に雄大な岩肌をもつ岩殿山が見えてくると、大月駅に到着します。

駅の開業は、明治三十五年（一九〇二年）のことで、それ以前の駅周辺は、昔ながらの宿屋が数件あるだけの野原でした。当初、大月駅は、県内産ぶどうや甲信地方で生産されていた生糸などを東京方面に輸送する中央線の駅の一つにすぎませんでした。



contents

- 1 シリーズ山梨の駅 甲斐往来:「第8回 大月駅」
- 2 特集1 平成18年度当初予算について
- 6 特集2 山梨ならではの魅力を活かした新たな観光施策
- 10 県の出先機関が変わります
- 12 甲州文化再見「第1回 風—情報伝達と輸送手段」
- 14 山梨の旧道を訪ねて「甲州市／甲州街道(鶴瀬・勝沼)」
- 16 甲斐のひと、インタビュー「宮沢和史 さん」
- 18 おいしい山梨再発見 地産地消「アスパラガス」
- 20 知って役立つ暮らしの情報「子どもを守る! 犯罪から、交通事故から」
- 21 やまのくに 山の花「ニリンソウ」